

# T2

## INTELLIGENT DIGITAL DISK RECORDER

### Quick Start Guide



17 September, 2009



## ご注意

- (1)本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2)本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3)本製品は内容について万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4)運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5)ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6)本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7)Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (8)DVCPRO HD は、パナソニック株式会社の商標です。
- (9)HDV および、HDV ロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- (10)その他、商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



## 表記について

- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイルも必ずお読みください。
- 本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。
- 本書では、T2のシステムを意味する場合、ワークステーションと表記します。



## 警告



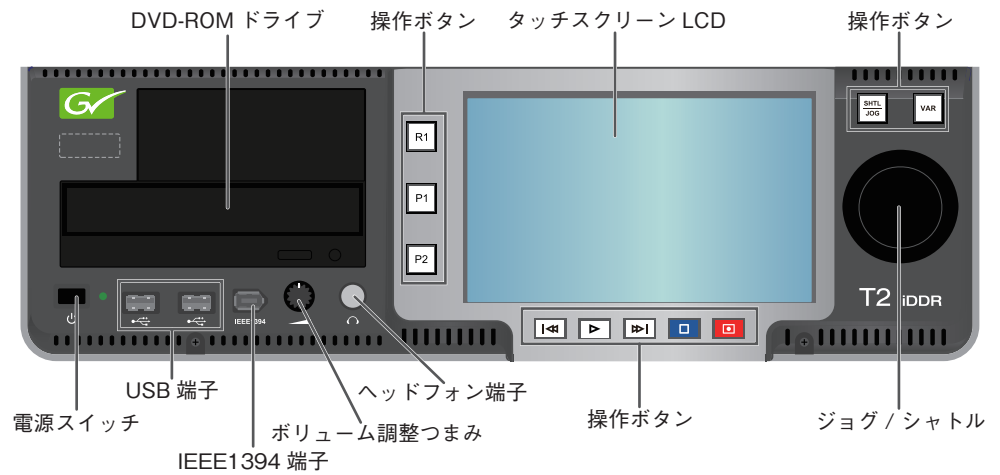
### ●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

T2  
Quick Start Guide  
September 17, 2009  
Copyright © 2009 Thomson Canopus Co., Ltd.  
All rights reserved.

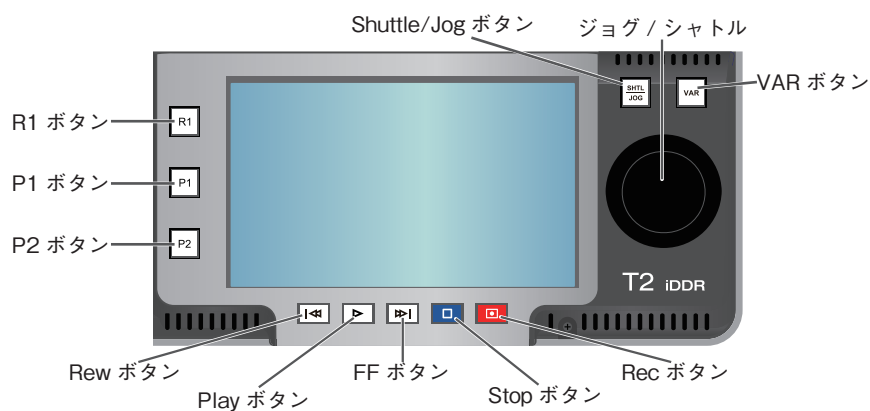
# 各部の名称と機能

## フロントパネル



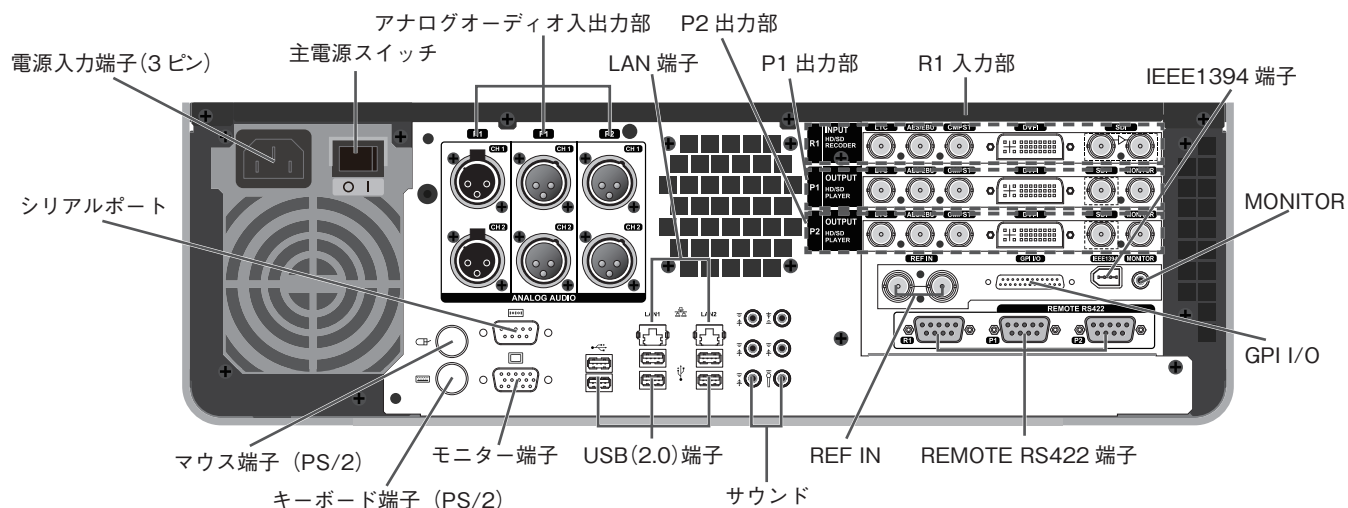
タッチスクリーン LCD	T2 の画像情報を表示します。画面上の表示内容をタップする事で T2 を操作することができます。
DVD-ROM ドライブ	DVD-ROM の映像・音声メディアファイルをインポートする場合に使用します。 ※ DVD-Video の再生には対応していません。
電源スイッチ	T2 を起動・終了します。
USB 端子	USB 対応リムーバブル機器を接続します。
IEEE1394 端子	IEEE1394 対応リムーバブル機器を接続します。 ※ DV/HDV 機器の接続には対応していません。
ボリューム調整つまみ	ヘッドフォンのボリュームを調整します。
ヘッドフォン端子	ヘッドフォンを接続することができます。
ジョグ/シャトル	(次頁参照)
操作ボタン	(次頁参照)

## 操作ボタン



R1 ボタン	Recorder 画面をアクティブにします。
P1 ボタン	Player1 画面をアクティブにします。
P2 ボタン	Player2 画面をアクティブにします。
Rew ボタン	1 フレーム戻します。押し続けることで巻き戻しとなります。
Play ボタン	再生を開始します。
FF ボタン	1 フレーム送ります。押し続けることで早送りとなります。
Stop ボタン	再生、録画を停止します。
Rec ボタン	録画を開始します。
Shuttle/Jog ボタン	ジョグ/シャトルを有効にします。(VAR ボタンとの切り替え)
VAR ボタン	可変速再生を行います。(コントロール画面を表示。Shuttle/Jog ボタンとの切り替え)
ジョグ/シャトル	ジョグ再生、シャトル再生を行います。
Rew ボタン+ Stop ボタン	クリップ再生時 直前の IN/OUT 点、またはクリップの先頭に移動します。 プレイリスト再生時 前のイベントへ移動します。
FF ボタン+ Stop ボタン	クリップ再生時 次の IN/OUT 点、またはクリップの最後尾に移動します。 プレイリスト再生時 次のイベントへ移動します。

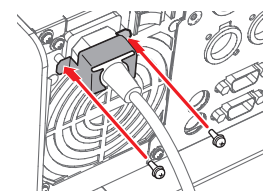
# リアパネル



電源入力端子 (3 ピン)	電源ケーブルを使用して AC 電源に接続します。
主電源スイッチ	主電源の入 / 切を切り換えます。
アナログオーディオ入出力部	アナログオーディオの入出力に使用します。
マウス端子 (PS/2)	マウスを接続する場合に使用します。
キーボード端子 (PS/2)	キーボードを接続する場合に使用します。
シリアルポート	使用しません。
モニター端子	PC モニターを接続する場合に使用します。
USB (2.0) 端子	キーボード、マウスなどを接続する場合に使用します。
LAN 端子	LAN ケーブルを接続します。
サウンド	使用しません。
R1 入力部	R1 チャンネルへの入力に使用します。
P1 出力部	P1 チャンネルからの出力に使用します。
P2 出力部	P2 チャンネルからの出力に使用します。
REF IN	REF 信号の入力に使用します。
GPI I/O	GPI の入出力に使用します。
IEEE1394 端子	IEEE1394 対応機器を接続します。
MONITOR	オーディオモニターに使用します。
REMOTE RS422 端子	R1、P1、P2 チャンネルのリモート制御に使用します。

## ご注意

電源ケーブル抜け止め金具を装着する場合は右の図にしたがって電源ケーブルと電源ケーブル抜け止め金具を付属のネジを使用して装着してください。  
ファンを固定しているネジは決して緩めないでください。

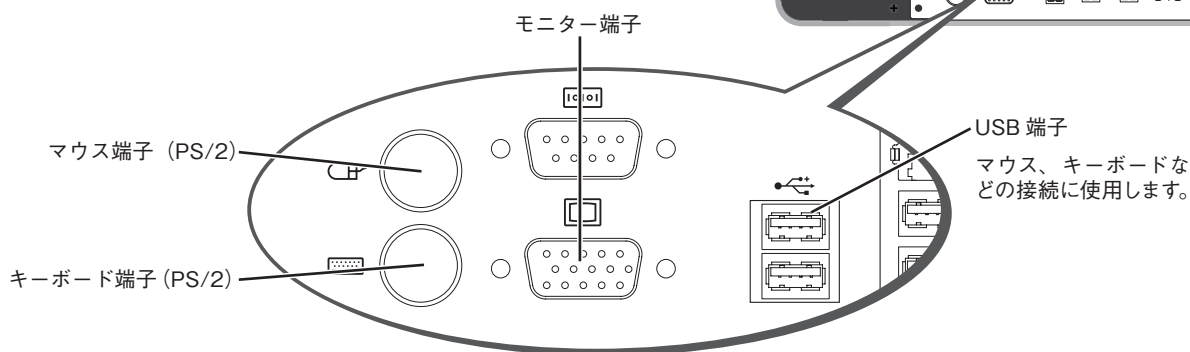
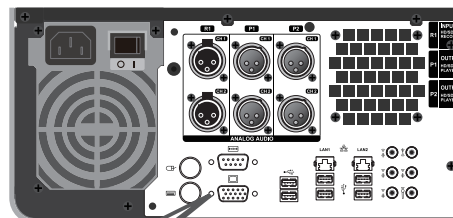


## 機器の接続

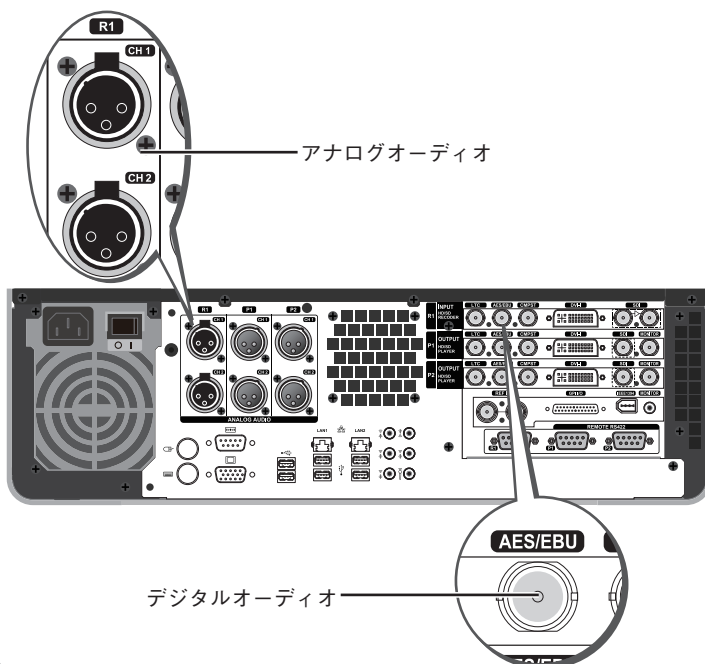
### 1 マウス、キーボード、モニターの接続（使用する場合）

T2の動作モードには、フロントパネルモード、またはワークステーションモードがあります。以下の表を参考に、必要に応じて機器の接続を行ってください。

動作モード	必要な機器
フロントパネルモード	なし
ワークステーションモード	キーボード、マウス、モニター



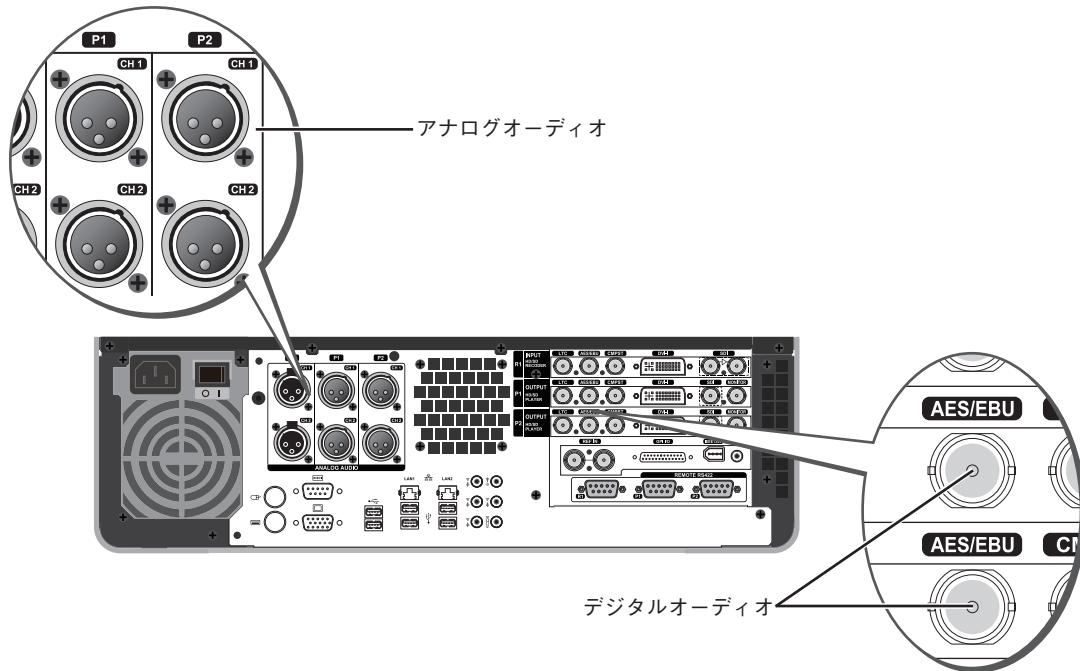
### 2 R1チャンネルへの入力



映像入力対応フォーマットと入力端子

コンポジット	<b>CMPST</b> 
DVI-I	<b>DVI-I</b> 
YPbPr	<b>DVI-I</b> ※アナログ RGB 信号用の変換コネクタケーブル（別売り）が必要です。
SDI	<b>SDI</b> 

### 3 P1/P2チャンネルの出力



出力対応ビデオ方式と出力端子

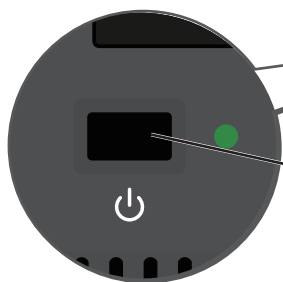
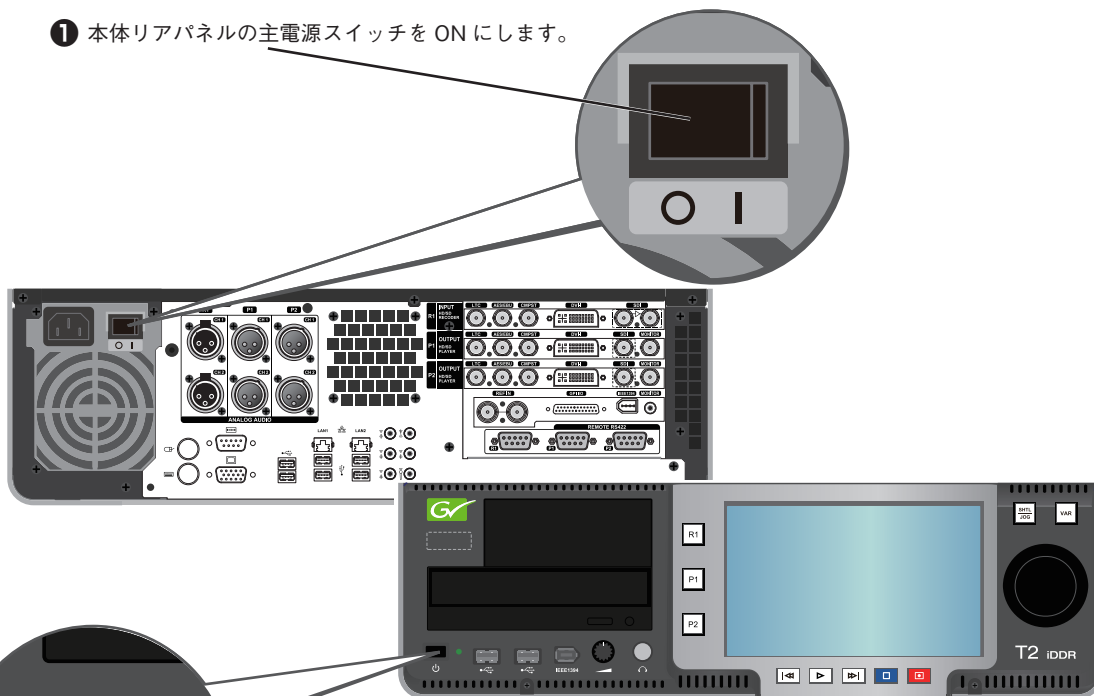
ビデオ方式	コンポジット	SDI	DVI-I	DVI-I (YPbPr)	RGB
1920 x 1080 50/59.94p			CEA861D		
1920 x 1080 50/59.94i		292M	CEA861D	274M	
1920 x 1080 24p (PsF)		292M	CEA861D	274M	
1280 x 720 50/59.94p		292M	CEA861D	296M	
1280 x 720 24p		292M			
720 x 480 59.94i	170M	259M		EBU N10	
720 x 576 50i	BT.470	259M		EBU N10	
1280 x 1024 60p			DVI 1.0		DMT
1024 x 768 60p			DVI 1.0		DMT
800 x 600 60p			DVI 1.0		DMT
640 x 480 59.94p			DVI 1.0		DMT

#### DVI-I端子について

YPbPr信号はDVI-I端子のアナログRGBピンから入出力します。使用にあたってはアナログRGB信号用の変換コネクタケーブルをご用意ください。

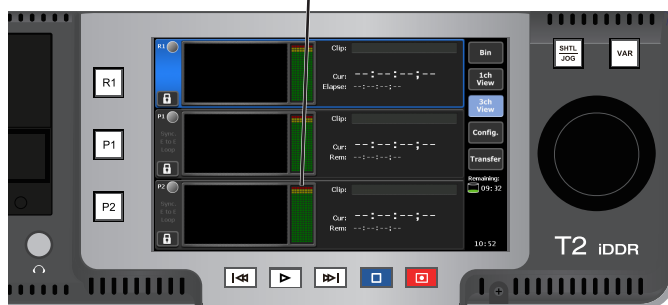
## 4 T2の起動

- ① 本体リアパネルの主電源スイッチを ON にします。



- ② フロントパネルの電源スイッチを ON にします。

- ③ T2 が起動し、タッチスクリーン LCD に 3ch View が表示されます。

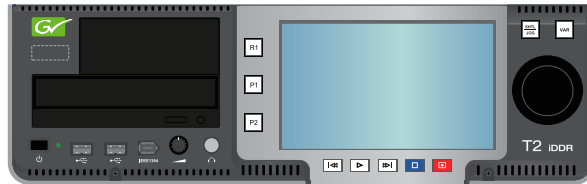




## 5 本体の設定と操作

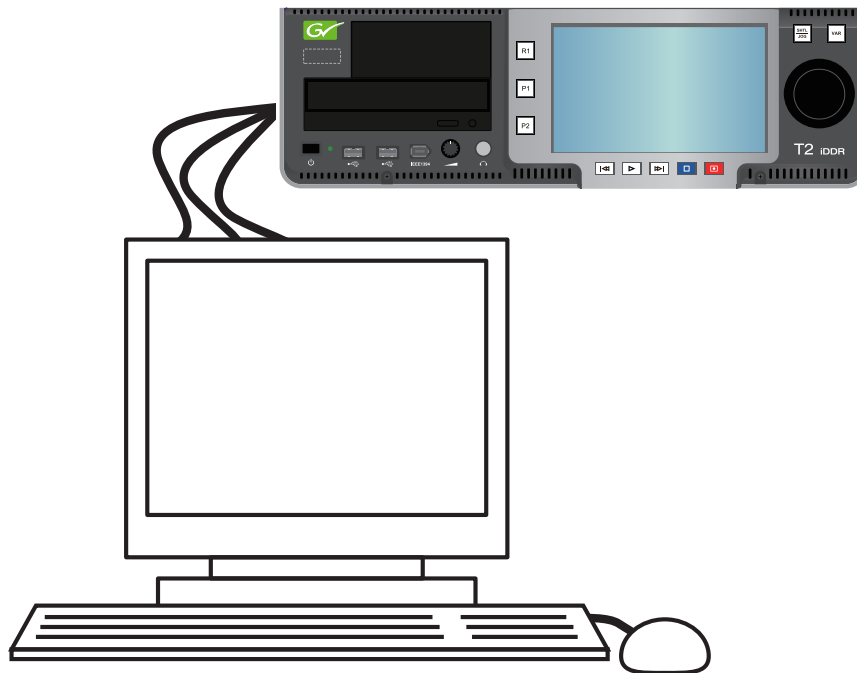
### フロントパネルモード

本体の設定については、「T2 User Manual -フロントパネルモード編-」のp.21を参照してください。フロントパネルモードでの基本的な操作方法については、本書のp.10を参照してください。



### ワークステーションモード

本体の設定については、「T2 User Manual -ワークステーションモード編-」のp.23を参照してください。ワークステーションモードでの操作方法については、本書のp.15を参照してください。



## クリップを録画する

- ① R1 ボタンを押します。      ② 入力信号を確認します。



- ③ アイコンをクリックすると、録画先 Bin を指定することができます。

- ⑤ 録画中にクリップ名をタップすると、クリップ名を変更できます。



- ⑥ 3ch View ボタンをタップすると、3ch View 画面に戻ります。

- ④ REC ボタンを押すと録画を開始、STOP ボタンを押すと停止します。

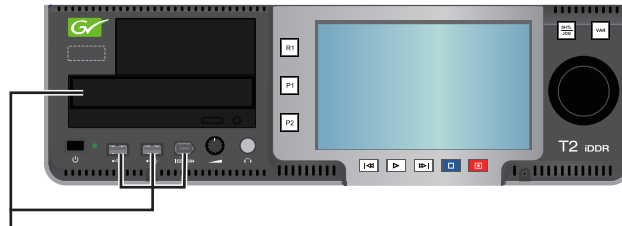


- ⑦ 作成されたクリップは、Bin に登録されます。



## メディアをインポートする

他のデジタルビデオ機器やPCで作成したメディアをインポートすることができます。メディアのインポートには、CD-ROM、DVD、USBフラッシュメモリ、および外付けUSB、IEEE1394ディスクドライブを使用することができます。



- ① 以下のいずれかの方法でメディアのインポートを行うことができます。
- ・CD-ROM または DVD をセットする
  - ・USB フラッシュメモリをセットする、または外付け USB ディスクドライブを接続する
  - ・外付け IEEE1394 ディスクドライブを接続する

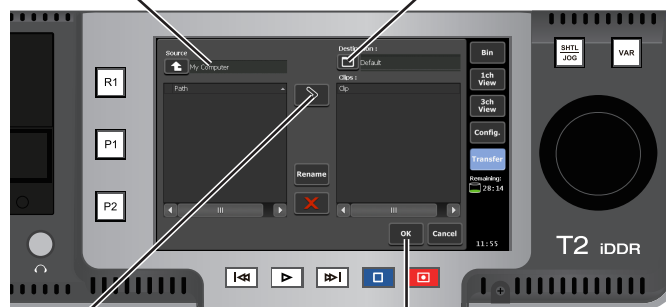
- ② Transfer ボタンをタップします。



- ③ Import ボタンをタップします。

- ④ インポート元のフォルダを選択します。

- ⑥ アイコンをタップすると、インポート先 Bin を指定することができます。



- ⑤ インポートするメディアを選択後、リスト追加ボタンをタップします。

- ⑦ OK ボタンをタップすると、インポートを開始します。

## クリップを再生する

③ [>P1] (または [>P2]) ボタンをタップして、チャンネルにロードします。

① Bin ボタンを押して Bin 画面を表示します。



④ P1 (または P2) ボタンを押して、クリップをロードしたチャンネルをアクティブにします。

② ロードするクリップを選択します。

⑦ クリップ名をタップすると、クリップ名を変更できます。

⑤ 1ch View ボタンをタップすると、1ch View で、詳細なクリップ情報を確認することができます。



⑥ Play ボタンを押すと再生を開始、STOP ボタンを押すと停止します。

⑧ 3ch View ボタンをタップすると、3ch View 画面に戻ります。

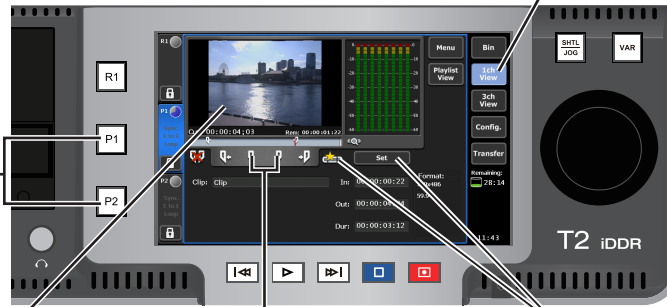
### 再生モードについて

E to E	チャンネルの再生終了後、黒画面を表示する場合は、E to E をオフに設定します。チャンネルの再生終了後、R1 チャンネルに入力されている映像を表示する場合は、E to E をオンに設定します。
Loop	クリップをループ再生する場合は、オンに設定します。
Sync	P1 チャンネルと P2 チャンネルのクリップがペアリング設定されている場合にオンにすると、同期再生を行います。

## In/Out点を設定する

① P1 (または P2) ボタンを押します。

② 1ch View ボタンをタップします。



③ クリップ名、プレビューを確認します。

④ In 点、Out 点を設定する地点で、Mark In ボタン、Mark Out ボタンをタップします。

⑤ Set ボタンをタップして、このクリップに In 点と Out 点を設定します。Set ボタンの代わりにサブクリップ作成ボタンをタップすると、この In 点 Out 点の範囲を別のクリップ (サブクリップ) として Bin に追加できます。

## プレイリストを作成する

① P1 (または P2) ボタンを押します。

② 1ch View ボタンをタップします。

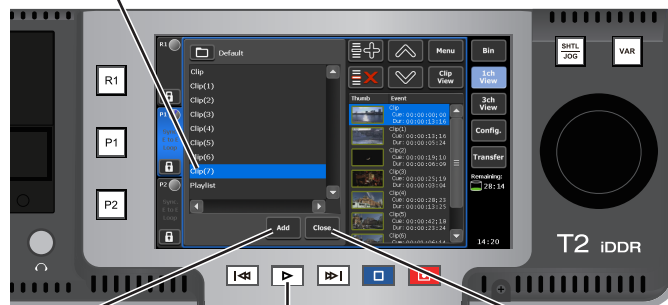


③ Playlist View ボタンをタップします。

④ プレイリスト作成ボタンをタップします。



⑤ 追加するクリップを選択します。



⑥ Add ボタンをタップします。

⑧ Play ボタンを押すと、作成したプレイリストが再生されます。

⑦ Close ボタンをタップします。

## ワークステーションモードの起動方法

T2の起動直後は、フロントパネルモードで動作しています。ワークステーションモードに切り替えるには、次の操作を行ってください。

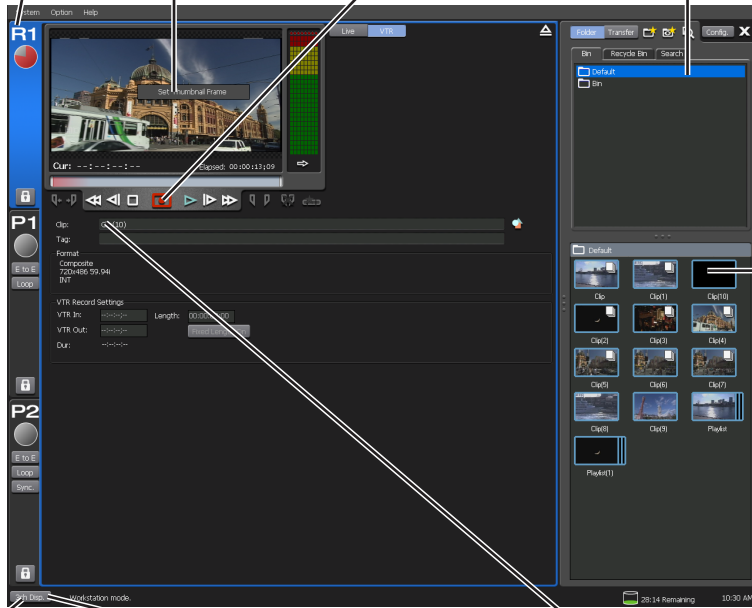
接続したPCモニター上に表示されている [System] メニューで、[Switch to Workstation mode (ワークステーションモードに切替)] を選択します。



※再度フロントパネルモードに切り替えるには、タッチスクリーンLCDをタップするか、PCモニター上に表示されている [System] メニューで、[Switch to Front Panel mode (フロントパネルモードに切替)] を選択してください。

## クリップを録画する

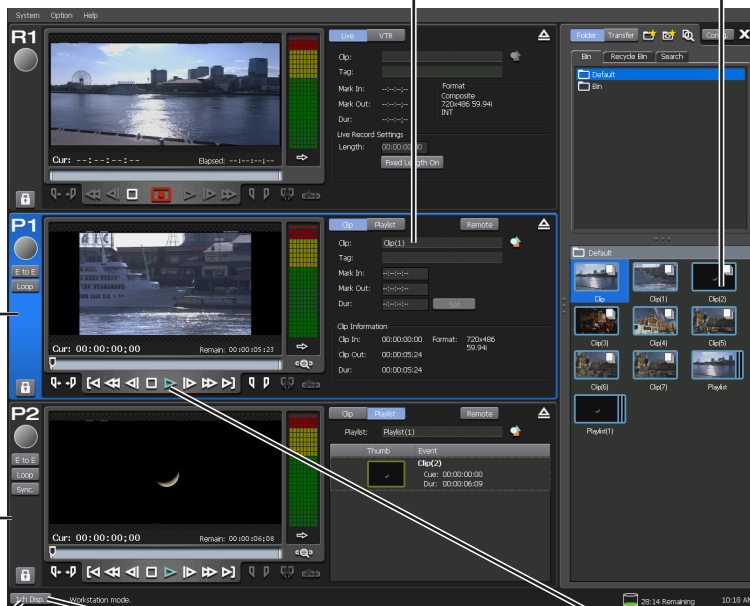
- ① R1 チャンネルをクリックして選択します。
- ② 入力信号を確認します。
- ③ 表示モード切替ボタン (1ch Disp ボタン) をクリックすると、フル画面表示で詳細な録画クリップの情報を指定することができます。
- ④ 録画先 Bin を選択します。
- ⑤ REC ボタンをクリックすると録画を開始、STOP ボタンをクリックすると停止します。
- ⑥ 録画中にクリップ名をクリックすると、クリップ名を変更できます。
- ⑦ 表示モード切替ボタン (3ch Disp ボタン) をクリックすると、3ch 表示画面に戻ります。
- ⑧ 作成されたクリップは、Bin に登録されます。





## クリップを再生する

- ① P1 (または P2) チャンネルをクリックして、プレイヤーチャンネルをアクティブにします。
- ② チャンネルにロードするクリップを、Bin で選択します。ロードするクリップをダブルクリックすると、アクティブなチャンネルにロードします。
- ③ 表示モード切替ボタン (1ch Disp ボタン) をクリックすると、詳細なクリップ情報を確認することができます。
- ④ Play ボタンをクリックすると再生を開始、STOP ボタンをクリックすると停止します。
- ⑤ クリップ名をクリックすると、クリップ名を変更できます。
- ⑥ 表示モード切替ボタン (3ch Disp ボタン) をクリックすると、3ch 表示画面に戻ります。



### 再生モードについて

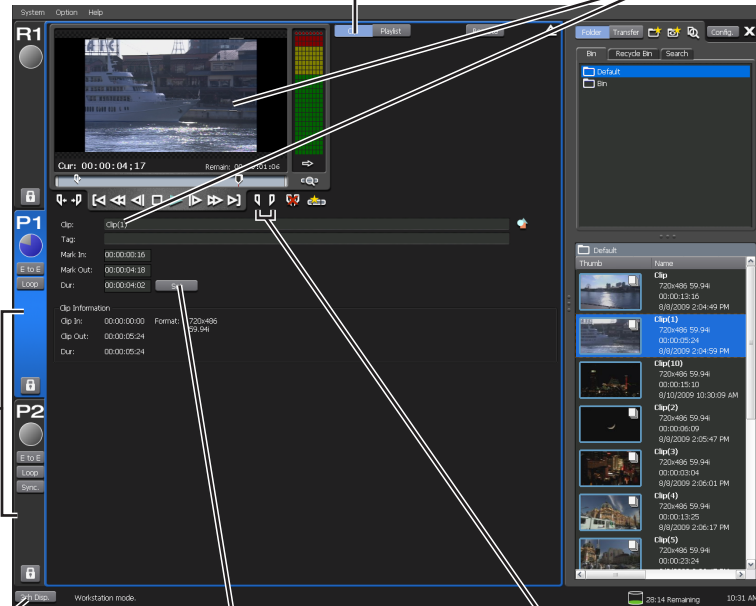
E to E	チャンネルの再生終了後、黒画面を表示する場合は、E to E をオフに設定します。チャンネルの再生終了後、R1 チャンネルに入力されている映像を表示する場合は、E to E をオンに設定します。
Loop	クリップをループ再生する場合は、オンに設定します。
Sync	P1 チャンネルと P2 チャンネルのクリップがベアリング設定されている場合にオンにすると、同期再生を行います。

## In/Out点を設定する

① P1 (またはP2) チャンネルをクリックしてアクティブにします。

③ Clip ボタンが On に設定されていることを確認します。

④ クリップ名、プレビューを確認します。



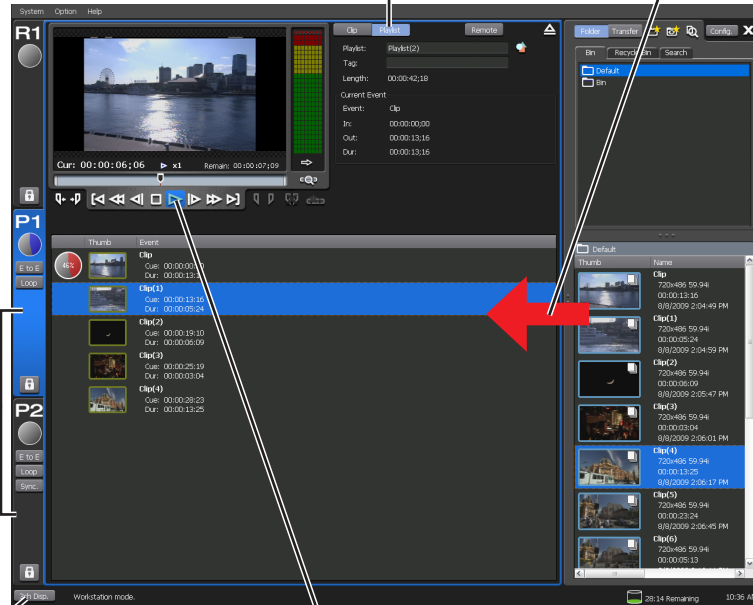
② 表示モード切替ボタン (1ch Disp ボタン) をクリックして、フル画面表示に切り替えます。

⑤ In点、Out点を設定する地点で、Mark In ボタン、Mark Out ボタンをクリックします。

⑥ Set ボタンをクリックして、このクリップに In点と Out点を設定します。  
また、Set ボタンの代わりにサブクリップ作成ボタンをクリックすると、この In点 Out点の範囲を別のクリップ (サブクリップ) として Bin に追加できます。

## プレイリストを作成する

- 1 P1 (または P2) チャンネルをクリックしてアクティブにします。
- 2 表示モード切替ボタン (1ch Disp ボタン) をクリックします。
- 3 Playlist ボタンをクリックします。
- 4 プレイリストに追加するクリップを、Bin からイベントリストにドラッグ & ドロップします。
- 5 Play ボタンで、プレイリストを再生することができます。



- 2 表示モード切替ボタン (1ch Disp ボタン) をクリックします。
- 5 Play ボタンで、プレイリストを再生することができます。

